

▶ KASPERSKY SECURITY CENTER

エンドポイント、ファイルサーバー、仮想化環境の保護を一元管理

単一の管理コンソールで、IT 環境におけるセキュリティを管理

- アンチマルウェア
- ファイアウォール
- クラウドベースの保護
- ぜい弱性スキャン
- アプリケーションコントロール
- アプリケーションホワイトリスト
- ウェブコントロール
- デバイスコントロール
- ファイルサーバー保護
- モバイルエンドポイントセキュリティ
- モバイルデバイス管理
- 仮想化環境の保護

以下の機能は 2014 年提供開始予定の Systems Management に含まれます

- システムイメージの構成と配信
- パッチ管理
- ネットワークアクセスコントロール

以下の機能は 2014 年提供開始予定の KESB Advanced に含まれます

- 暗号化

スケーラビリティ

IT インフラのセキュリティ要件は厳しくなる一方ですが、管理ツールである Kaspersky Security Center を使用することで最適な保護環境を容易に構築することができ、日々の運用を支援します。

柔軟で包括的な管理

Kaspersky Security Center は以下を管理できます。ただし、使用する製品により管理できる項目は異なりますのでご注意ください。

- エンドポイントマルウェア対策機能の導入と構成
- アプリケーション、Web の使用、および接続される周辺機器に適用されるポリシー設定の一元管理
- 物理デバイス、仮想デバイス、モバイルデバイスのセキュリティの管理

以下の機能は 2014 年に提供開始予定です

- 暗号化の構成と管理
- ライセンスのインストール数や有効期限の管理
- モバイルデバイスのセキュリティを構成するためのモバイルデバイス管理 (MDM)
- システムイメージの作成、配信、保存、管理
- Windows OS やサードパーティアプリケーションのぜい弱性スキャンおよび高度なパッチ管理
- ゲストユーザーへのポリシー適用を可能にするネットワークアクセスコントロール (NAC)

多様なツールを組み合わせる

エンドポイントセキュリティスイート製品の Kaspersky Endpoint Security for Business には、様々なプラットフォームを管理する Kaspersky Security Center が含まれています。この管理機能を含め、各プログラムやツール類は自社にて開発されました。つまり、同じプログラマ達が同じコードベースから作業を行い、連携を取りながらテクノロジーを開発しました。これによって、安定性、総合的なポリシー、強力なレポート機能、および直感的なツールを実現しています。

• **直感的なユーザーインターフェイス** — 明瞭で実用的な情報が、管理者に直接提供されます。

• **仮想化環境のサポート** — 仮想化環境では「スキャンストーム」による処理能力の悪化が課題となりますが、各仮想マシンを認識して負荷分散を行い、パフォーマンスの低下を軽減します。

• **Web インターフェイス** — 柔軟で使いやすいインターフェイスから、保護の状態をリモートで監視して主要なイベントをレポートすることができます。

• **混在環境のサポート** — Windows®、Linux®、Mac、Android® や仮想化環境が存在する複雑な IT インフラ環境を一元的に管理できます。

• **定義済みのポリシー** — カスペルスキーによる定義済みポリシーを利用し、ベストプラクティスといえる運用を行うことができます。また、独自のポリシーを作成することも可能です。

• **自動モバイルポリシー** — モバイルデバイスが企業ネットワークから離れたと、ポリシーが自動的に設定および適用されます。社外を移動していることが多い従業員のモバイルデバイスの保護に最適です。

• **スケーラブルなサポート** — IT インフラの規模が拡大しても、Kaspersky Security Center はシステムの多様性に対応して、柔軟なポリシーの適用やレポート機能を提供することができます。

• **リモートオフィスのサポート** — 個別の「仮想」管理サーバーを作成して、各オフィスに対応するローカルのアップデートエージェントとして機能させることができます。これによって、リモートオフィスのデバイスの更新などに伴うトラフィックを業務時間外などに行うことで業務への影響を極小化できます。

KASPERSKY ENDPOINT SECURITY FOR BUSINESS から最適な製品を選択するには

ポリシー管理の問題がある場合

Kaspersky Endpoint Security for Business Select、Advanced^{*1} を選択ください。使いやすいアプリケーションコントロール、デバイスコントロール、ウェブコントロールの各機能が含まれています。

タブレットやスマートフォンを使用しているモバイルワーカーを保護する必要がある場合

Select、もしくは Advanced^{*1} を選択ください。Android 向けの保護プログラムを提供しています。

紛失または盗難にあったデバイスのデータを保護する必要がある場合

Kaspersky Endpoint Security for Business Advanced^{*1} では、ディスクレベル / ファイルレベルの暗号化が可能であり、万が一の場合でもデータの漏えいを防ぎます。

既存の IT ツールが複雑すぎる場合

Advanced^{*1} は以下の機能を提供しており、システム管理の負荷を軽減します。

- パッチ管理
- ライセンス管理
- システムイメージの構成と配信
- ネットワークアクセスコントロール (NAC)

既存のエンドポイントセキュリティツールの管理が複雑すぎる場合

カスペルスキーのエンドポイント製品は Kaspersky Security Center で管理できます。PC、ファイルサーバー、モバイル、そして仮想化環境を単一のコンソールで容易に管理できます。

^{*1} 2014 年提供開始予定

製品階層	エンドポイントセキュリティ機能	管理関連機能
CORE	<ul style="list-style-type: none">• アンチマルウェア• ファイアウォール• Kaspersky Security Network によるクラウドベースの保護	<ul style="list-style-type: none">• Kaspersky Security Center によるアンチマルウェア機能の管理
SELECT	<p>上記のすべてに加えて以下の機能</p> <ul style="list-style-type: none">• アプリケーションコントロール• アプリケーションホワイトリスティング• ウェブコントロール• デバイスコントロール• ファイルサーバー保護• モバイル保護 (タブレット、スマートフォン)	<p>上記のすべてに加え、</p> <ul style="list-style-type: none">• モバイルデバイスマネジメント (MDM)
ADVANCED ^{*1}	<p>上記のすべてに加えて以下の機能</p> <ul style="list-style-type: none">• データ暗号化	<p>上記のすべてに加えて以下の機能</p> <ul style="list-style-type: none">• パッチ管理• ライセンス管理• システムイメージの作成と配信• ネットワークアクセスコントロール

購入方法

Kaspersky Security Center は、各法人向け製品に組み込まれています。上記の表から、ビジネスに最適な製品を選択してください。

Kaspersky Security Center の詳細については、カスペルスキーまたは販売パートナーにお問い合わせください。

プラットフォームによっては利用できない機能があります。詳細については、www.kaspersky.co.jp をご覧ください。

KESB-SC / バージョン 0.2 / 2013 年 11 月 25 日 / 日本

© 2013 Kaspersky Lab ZAO. All rights reserved. 登録商標およびサービスマークは、それぞれの所有者に属しています。Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。Android は、Google, Inc. の商標です。Mac は、Apple Inc. の登録商標です。

KASPERSKY lab